

# 幸せ実感都市 『ながの』

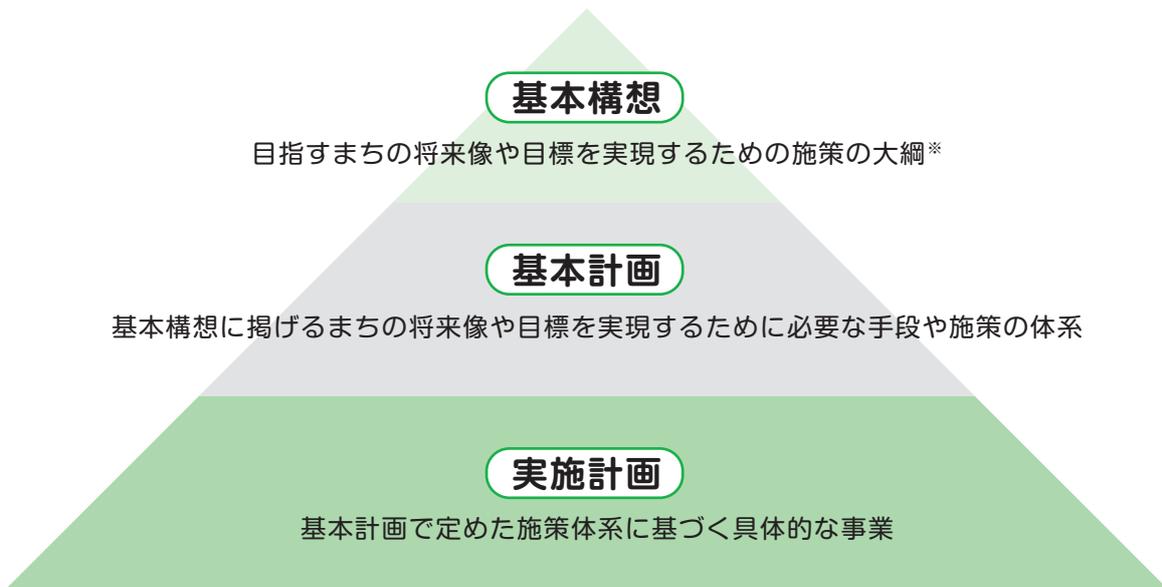
～“オールながの”で未来を創造しよう～

# 総合計画とは

## 策定の趣旨

- 本市は、平成 17(2005)年 1 月と平成 22(2010)年 1 月の合併を踏まえ、安定成長時代への移行を前提に、新たなフレームで平成 28(2016)年度を目標年次とする第四次長野市総合計画を策定し、「～善光寺平に結ばれる～人と地域がきらめくまち“ながの”」を目指して、まちづくりを進めてきました。
- 平成 23(2011)年の地方自治法の改正では、国の地方分権改革推進計画に基づき、地方公共団体の運営に関し、基本構想の策定義務が廃止されました。
- 人口減少や少子・高齢化の本格的な進行等、従来にはない変化に的確に対応し、継続的な発展に向けた総合的かつ計画的な行政運営の指針として、長期的な展望を示すために第五次長野市総合計画を策定することとしました。
- 多くの分野で策定されている個別計画は、本計画を補完し具体化しているものであり、本計画は本市の最上位計画(最高方針)として位置付けるものです。

## 計画の構成と期間



	(年度)									
	平成 29 2017	平成 30 2018	平成 31 2019	平成 32 2020	平成 33 2021	平成 34 2022	平成 35 2023	平成 36 2024	平成 37 2025	平成 38 2026
基本 構想	→									
基本 計画	→					→				
実施 計画	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

※ 施策の大綱…………… 施す方策の根本的で本質的な内容のこと。

# 基本構想

## まちづくりの基本方針

### 市民の「幸せ」の実現

- 時代の大きな転換期である今こそ行政の基本的役割を見つめ直し、市民が真の豊かさや幸せを実感し、いきいきと生活できるまちを目指します。

### 「持続可能な」まちづくりの推進

- 限りある行政経営資源<sup>※</sup>を効果的・効率的に活用し持続可能なまちを目指します。
- 市民や地域の力を原動力にしながら、多様な主体によるまちづくりの担い手<sup>※</sup>と連携して持続可能なまちを目指します。
- 地球温暖化の防止や生物多様性<sup>※</sup>の確保、限りある資源の有効活用など、直面する環境問題の解決に向けた取組を実施し、持続可能なまちを目指します。

### 「長野市らしさ」の発揮と「まちの活力と魅力」の創出

- 自然環境、交通環境等、それぞれに強みと可能性を有しており、長野市らしさを十分に発揮したまちづくりを戦略的に推進します。
- 本市特有の地域資源を活用してまちの活力と魅力の維持・創出を目指します。

## まちの将来像

# 幸せ実感都市 『ながの』

～“オールながの”で未来を創造しよう～

●住民の福祉の増進

●市全体の「幸せ」の総和の拡大

●市民が本市への誇りを胸に未来への希望を実感

- 強みを活用しながら、抱える課題を可能性に変え「長野市らしい魅力ある」まち
- 多様な主体によるまちづくりの担い手・特性を踏まえた地域づくり

## 土地利用構想

### 基本方針1

土地の適切な管理と有効利用

### 基本方針2

自然環境や美しい景観等を保全・再生・活用する土地利用

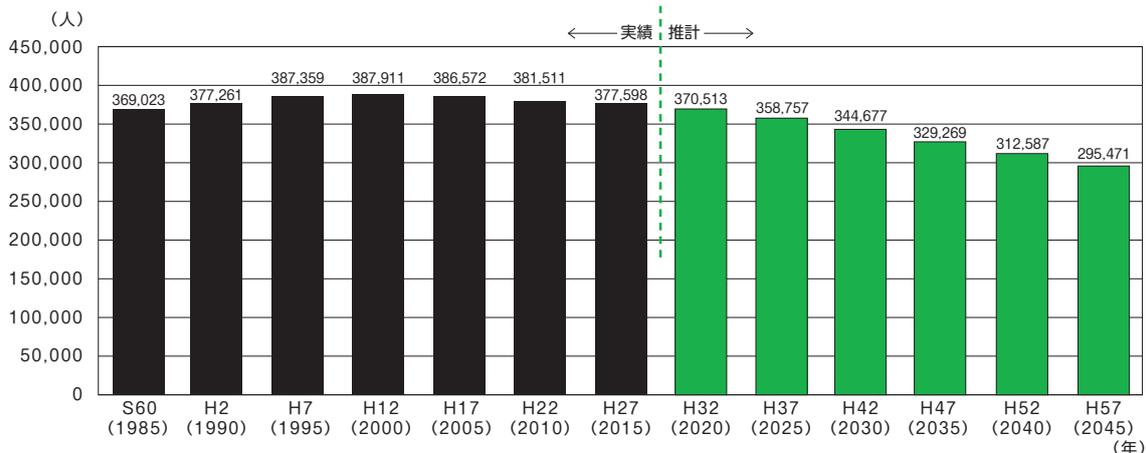
### 基本方針3

安全で安心できる土地利用

※ 行政経営資源……………行政の運営に際し、必要なヒト・モノ・カネのこと。  
※ 多様な主体によるまちづくりの担い手……………地域コミュニティ、市民公益活動団体、民間企業などのこと。  
※ 生物多様性……………遺伝子、種、生態系など、様々な生命が豊かに存在すること。

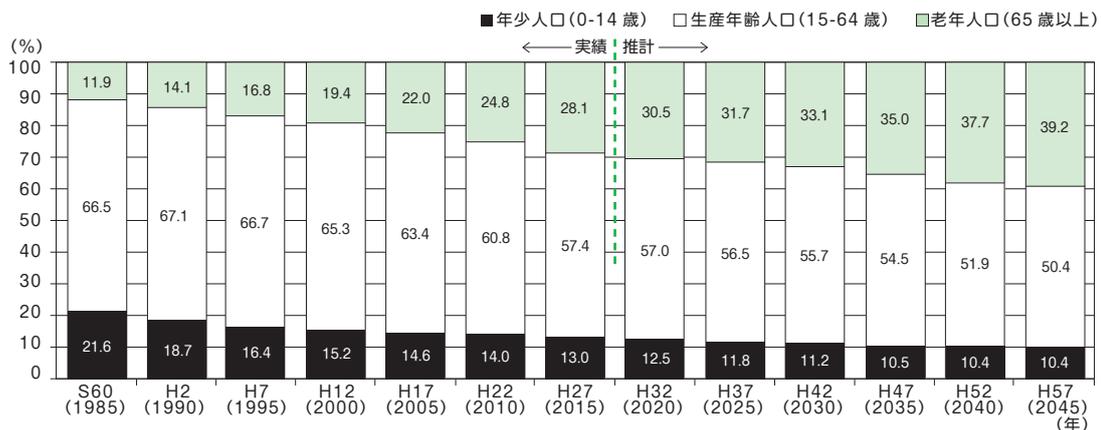
# 将来の人口や世帯数等

## ■ 総人口



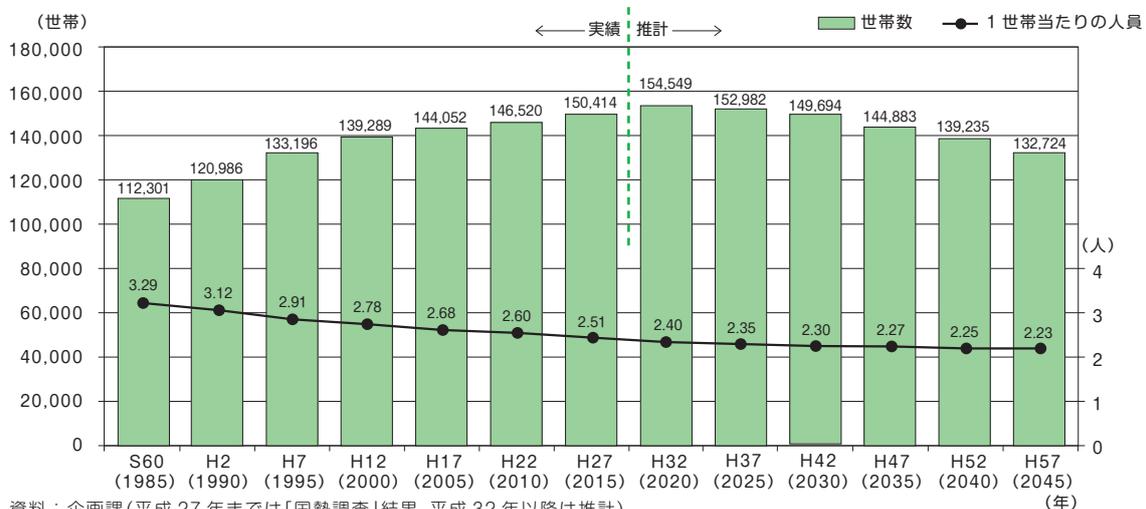
資料：企画課（平成 27 年までは「国勢調査」、平成 32 年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に準拠した推計）

## ■ 年齢 3 区分別人口



資料：企画課（平成 27 年までは「国勢調査」、平成 32 年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に準拠した推計）  
注：実績には、年齢不詳が含まれていないため 3 区分の合計が必ずしも 100% にならない。

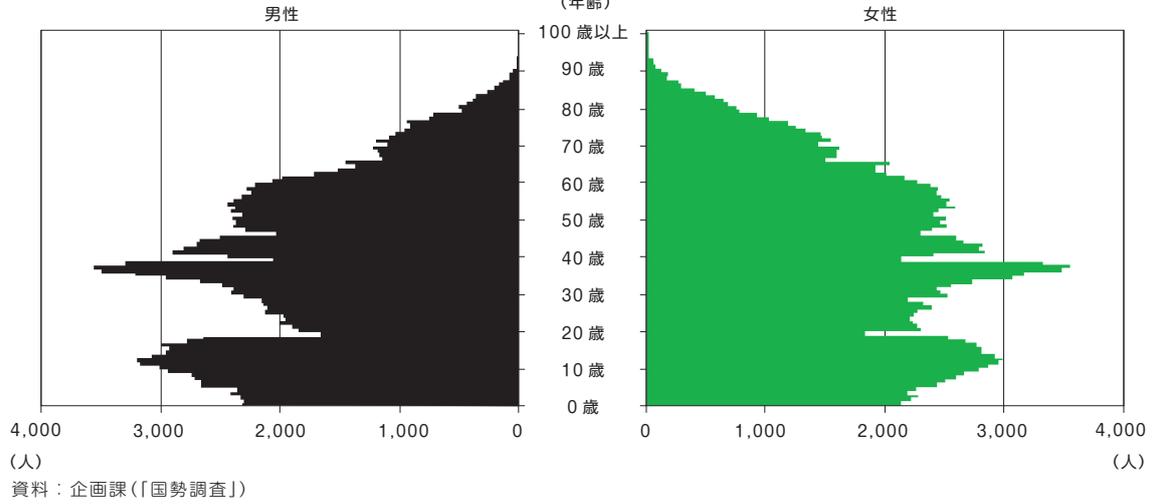
## ■ 世帯数



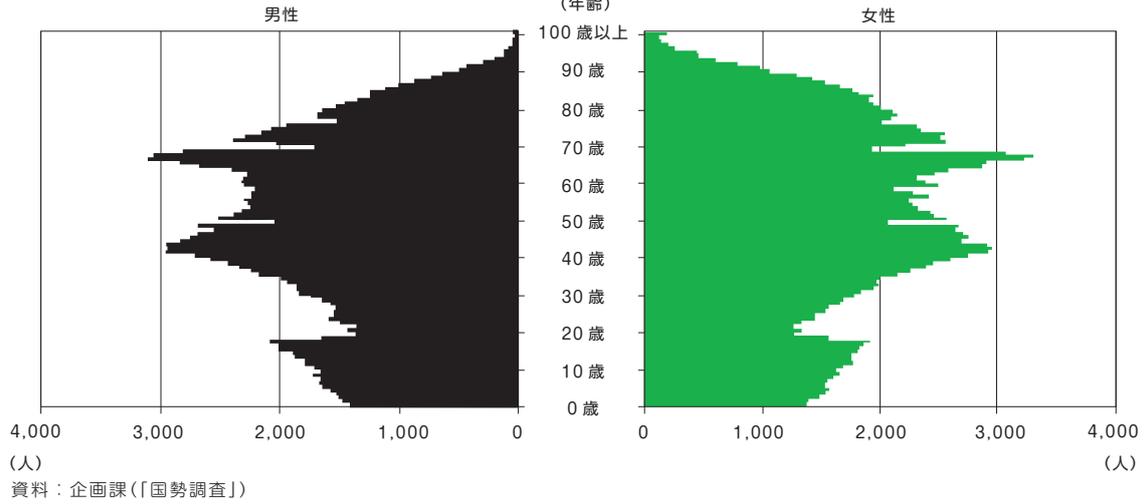
資料：企画課（平成 27 年までは「国勢調査」結果、平成 32 年以降は推計）

## ■ 人口ピラミッド

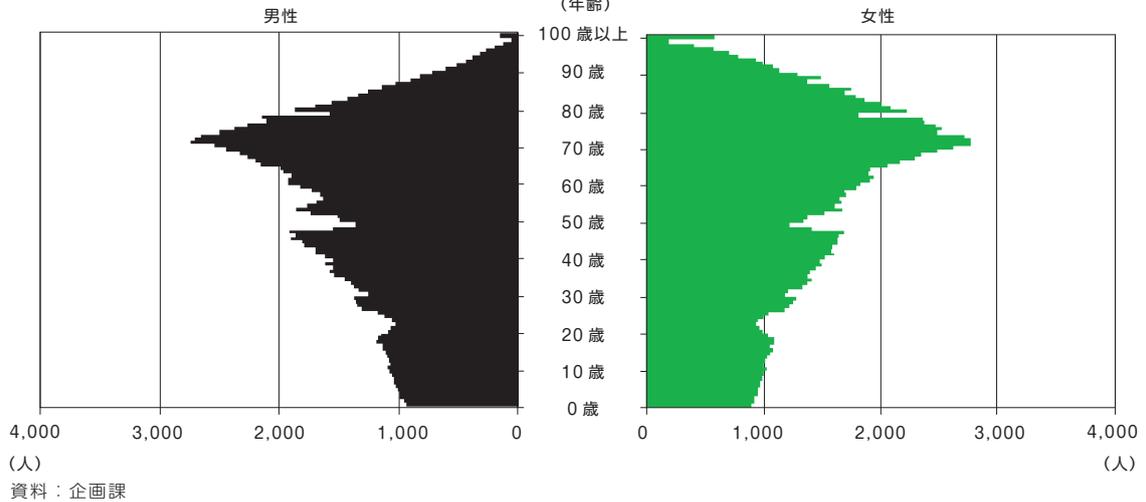
昭和 60(1985)年



平成 27(2015)年



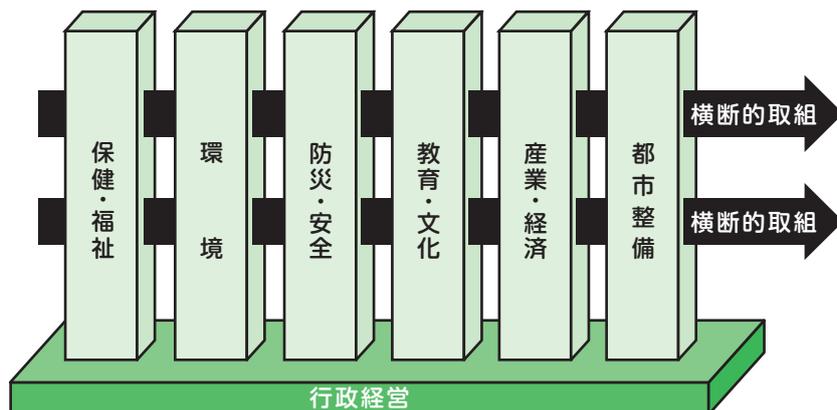
平成 57(2045)年



# 基本計画

## 計画推進重点テーマ

- 現在、課題が重なり合い特定分野での対応が難しいため、分野横断的連携を図り推進している施策があり、今後は分野ごとの施策の推進に加え、これまで以上に分野横断的な取組を要する施策の重要性が増しています。
- 我が国では、人口減少、少子・高齢化の進行が大きな課題となっており、本市においても対策の必要性が高まっています。



### 視点 1

喫緊に取り組む必要があること

### 視点 2

分野を特定できず、分野横断的な取組を要すること

### 視点 3

複数分野での取組により相乗効果が期待できること

## テーマ 1 「魅力ある地域づくり」～暮らし続けられる環境づくりに向けて～

多様な地域性を有する本市において、市街地や中山間地域等の特性を活かしながら全市の魅力高めるとともに、暮らし続けられる環境づくりに向けて、魅力ある地域づくりを目指します。

### 指標

指標名	現状値	目標
環境や体制に関するアンケート指標 (全 53 指標) の達成度	—	53 指標
市民(回答者)の実践状況に関するアンケート指標 (全 38 指標) の達成度	—	38 指標

### テーマを実現する視点

『安心して暮らす』  
『ともに支える』

だれもが住み慣れた地域で安心して住み続けられるよう、防災や防犯、福祉、教育等での地域における支え合いの支援などに取り組みます。

『地域が輝く』  
『生活機能を守る』  
『自然を保全・活用する』

公益的機能を有する森林や農地等を適切に保全するとともに、公共交通などの生活機能の維持や特有資源の活用等による活性化などに取り組みます。また、特に急激な人口減少や少子・高齢化の進行が見込まれる中山間地域においては、特有の課題の解決や活性化に向けて取り組みます。

## テーマ2 「にぎわいあるまちづくり」～交流人口の増加に向けて～

オリンピック・パラリンピック冬季競技大会等の開催による世界的知名度や独自の歴史・文化などを有していますが、更にブランド力を高めるとともに、新たな資源を掘り起こし磨き発信することにより、交流人口の増加に向けてにぎわいあるまちづくりを目指します。

### 指標

指標名	現状値	目標
地域ブランド調査結果（認知度）	84位	50位以内
地域ブランド調査結果（魅力度）	63位	50位以内
地域ブランド調査結果（観光意欲度）	96位	50位以内
観光入込客数	1,701万人 (H27 御開帳開催時)	1,790万人 (H33 御開帳開催時)
	1,002万人 (H22～26の平均)	1,040万人 (H32)

### テーマを実現する視点

#### 『存在感を示す』

#### 『人が集う』

#### 『文化・スポーツを楽しむ』

豊富な観光資源や魅力を戦略的に国内外へ発信しながら、市内での地域間交流、国内の都市・農村交流などや国外との様々な交流に取り組みます。

#### 『新しい人の流れをつくる』

本市の多様な魅力や地域性を発信するとともに、市外からの移住希望者に対する相談・受入体制の充実などに取り組みます。

## テーマ3 「活力あるまちづくり」～定住人口の増加に向けて～

人口減少、少子・高齢化の進行は、地域社会の活力に影響が生じる懸念があるため、定住人口の増加に向け、活力あるまちづくりを目指します。

### 指標

指標名	現状値	目標
定住人口	376,672人(H28)	368,000人
合計特殊出生率 <sup>※</sup>	1.55	1.65
健康寿命 <sup>※</sup>	男性：80.81年 女性：84.97年	平均寿命の増加分を上回る 健康寿命の増加

### テーマを実現する視点

#### 『子どもを産み育てる』

結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援により子どもを安心して産み育てられる環境を充実するとともに、子どもがいきいきと育ち、個性や能力を伸ばすことができる教育の推進などに取り組みます。

#### 『いつまでも健康に暮らす』

#### 『元気な身体をつくる』

高齢化の進行が見込まれていますが、だれもがいつまでも元気で健康に暮らせるよう、子どもや若い世代からの健康づくり支援などに取り組みます。

#### 『仕事生まれる』

#### 『企業が育つ』

安心して働ける産業の育成と創造による魅力ある仕事づくりを進めるとともに、地域産業の次代を担う人材の育成などに取り組みます。

※ 合計特殊出生率……一人の女性が生涯に産むと見込まれる子どもの数。その年の15歳～49歳の女性が産んだ子どもの数を基に算出する。

※ 健康寿命……日常的に介護を必要としないで、健康で自立した生活ができる期間のこと。

		基本構想	
		分野	政策
7分野	<b>1 行政経営分野</b> 行政経営の方針	1	市民が主役のまちづくりの推進
		2	将来にわたり持続可能な行財政運営の確立
	<b>2 保健・福祉分野</b> 人にやさしく 人がいきいき暮らすまち「ながの」	1	少子化対策、切れ目ない子ども・子育て支援
		2	生きがいのある豊かな高齢社会の形成
		3	だれもが自分らしく暮らせる社会の形成
		4	安心して暮らせる健康づくりの推進
		5	人権を尊ぶ明るい社会の形成
<b>3 環境分野</b> 人と自然が共生するまち「ながの」	1	環境に負荷をかけない持続可能な社会の形成	
	2	自然と調和した心地よい暮らしづくりの推進	
<b>4 防災・安全分野</b> 安全で安心して暮らせるまち「ながの」	1	災害に強いまちづくりの推進	
	2	安心して暮らせる安全社会の構築	
<b>5 教育・文化分野</b> 豊かな心を育み 人と文化が輝くまち「ながの」	1	未来を切り拓く人材の育成と環境の整備	
	2	豊かな人生を送るための学習機会の提供	
	3	魅力あふれる文化の創造と継承	
	4	スポーツを軸としたまちづくりの推進	
	5	国際交流・多文化共生の推進	
<b>6 産業・経済分野</b> 産業の活力と にぎわいのあふれるまち「ながの」	1	魅力を活かした観光の振興	
	2	活力ある農林業の振興	
	3	特色を活かした商工業の振興	
	4	安定した就労の促進	
<b>7 都市整備分野</b> 快適に暮らし活動できる コンパクトなまち「ながの」	1	いきいきと暮らせる魅力あるまちづくりの推進	
	2	拠点をつなぐネットワークの充実	

7分野

22政策

前期基本計画

計画推進重点テーマ

施策

テーマ1

「魅力ある地域づくり」～暮らし続けられる環境づくりに向けて～

『地域が輝く』『生活機能を守る』『自然を保全・活用する』  
『安心して暮らす』『ともに支える』

テーマ2

「にぎわいあるまちづくり」～交流人口の増加に向けて～

『新しい人の流れをつくる』  
『存在感を示す』『人が集う』『文化・スポーツを楽しむ』

テーマ3

「活力あるまちづくり」～定住人口の増加に向けて～

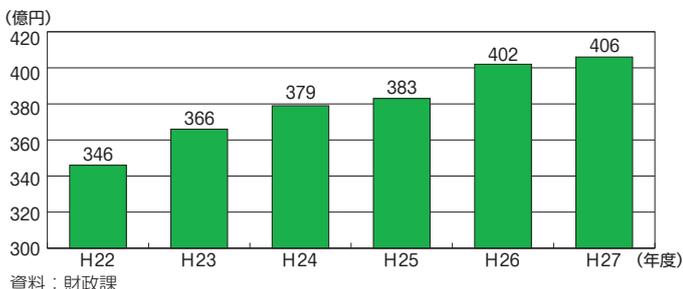
『仕事が生まれる』『企業が育つ』  
『いつまでも健康に暮らす』『元氣な身体をつくる』  
『子どもを産み育てる』

- 1 市民とともに作る市政の推進
- 2 市民によるまちづくり活動への支援
- 1 効果的で効率的な行財政運営の推進
- 2 市民の満足が得られる市政の推進
- 3 地方中核都市としての役割の遂行
- 1 結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援
- 2 子どもの成長を育む環境の充実
- 3 社会的援助を必要とする家庭等の自立支援
- 1 高齢者の社会参加と生きがいつくりの促進
- 2 高齢者福祉サービスの充実
- 1 障害者(児)福祉の充実
- 2 認め合い、支え合い、活かし合う地域社会の実現
- 3 生活の安定と自立への支援
- 1 健康の保持・増進の支援
- 2 保健衛生の充実
- 3 地域医療体制の充実
- 1 人権尊重社会の実現
- 2 男女共同参画社会の実現
- 1 低炭素社会の実現
- 2 循環型社会の実現
- 1 豊かな自然環境の保全
- 2 良好な生活環境の保全
- 1 防災・減災対策の推進
- 2 消防力の充実・強化及び火災予防
- 1 交通安全対策の推進
- 2 防犯対策の推進
- 3 安全な消費生活の確保
- 1 乳幼児期から高等教育までの教育の充実
- 2 子どもに応じた支援の充実
- 3 家庭・地域・学校の相互連携による教育力向上
- 1 生涯学習環境の充実
- 2 学習成果を活かした地域づくりへの参加促進
- 1 多彩な文化芸術の創造と活動支援
- 2 文化の継承による魅力ある地域づくりの推進
- 1 だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進
- 2 スポーツを通じた交流拡大の推進
- 1 国際交流活動の推進
- 2 多文化共生の推進
- 1 豊富な観光資源等を活かした観光交流促進
- 2 インバウンドの推進
- 3 コンベンションの誘致推進
- 1 多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進
- 2 地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進
- 3 森林の保全と資源の活用促進
- 1 商工業の強化と環境整備の促進
- 2 地域の特性が光る商工業の推進
- 3 新たな活力につながる産業の創出
- 1 就労の促進と多様な働き方の支援
- 2 勤労者福祉の推進
- 1 地域の特性に応じた都市機能の充実
- 2 暮らしを支える生活機能の維持
- 3 多世代のだれもが暮らしやすいまちづくりの推進
- 4 地域の特色を活かした景観の形成
- 1 地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築
- 2 拠点をつなぐ交通ネットワークの整備

# 現況や課題を表す様々なデータ等

## 1-2-1 効果的で効率的な行財政運営の推進

### ■ 社会保障関係費(扶助費・繰出金)



### 目指す状態

安定的な行政サービスが提供される持続可能な財政基盤が構築されている。

## 2-1-1 結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援

### ■ 出生数と合計特殊出生率

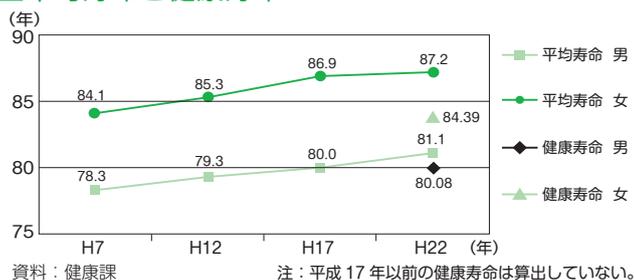


### 目指す状態

若い世代が結婚や妊娠・出産についての希望をかなえ、温かい社会の中で安心して子どもを育てている。  
〈合計特殊出生率:1.55⇒1.65〉

## 2-4-1 健康の保持・増進の支援

### ■ 平均寿命と健康寿命

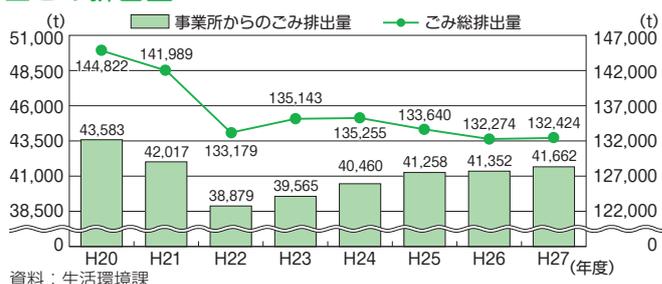


### 目指す状態

市民一人ひとりが健康の大切さを認識し、生涯を通じて主体的に健康づくりに取り組み、自分らしく生きがいをもって生活している。  
〈健康寿命：男 80.81年、女 84.97年⇒平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加〉

## 3-1-2 循環型社会の実現

### ■ ごみ排出量

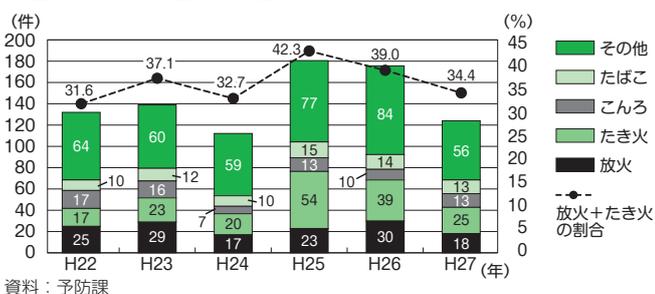


### 目指す状態

市民や事業者がごみの発生抑制に積極的に取り組み、排出量が年々減少している。  
〈市民一人一日当たりのごみ排出量961g⇒935g以下〉

## 4-1-2 消防力の充実・強化及び火災予防

### ■ 出火件数と出火原因

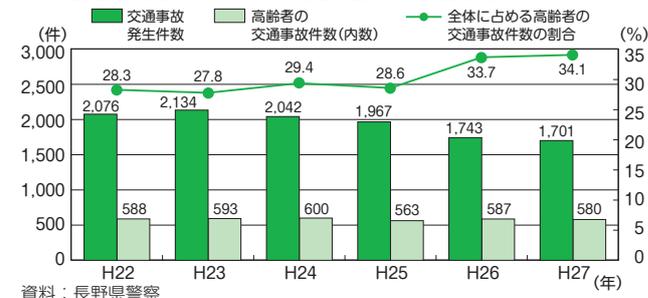


### 目指す状態

市民の防火意識が高く、消防・救急・救助体制の充実により市民の生命・財産が守られている。  
〈人口1万人当たりの出火件数3.3件⇒3.0件以下〉

## 4-2-1 交通安全対策の推進

### ■ 交通事故発生件数と高齢者の交通事故件数

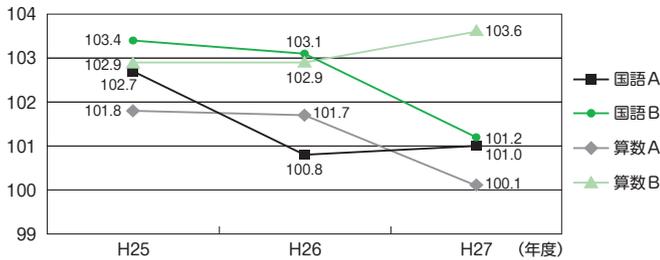


### 目指す状態

市民が交通事故の被害者・加害者になることなく、安全に安心して生活している。  
〈交通事故件数1,701件⇒1,250件以下〉

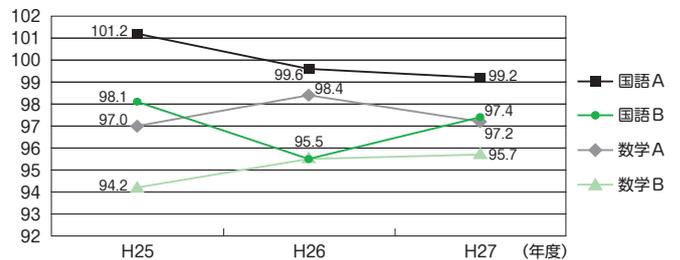
## 5-1-1 乳幼児期から高等教育までの教育の充実

### ■全国学力・学習状況調査の平均正答率(小学生)



資料：学校教育課  
注：全国を100とした指数

### ■全国学力・学習状況調査の平均正答率(中学生)



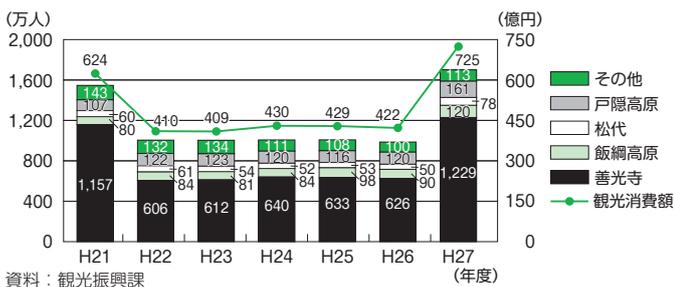
資料：学校教育課  
注：全国を100とした指数

### 目指す状態

子どもが社会でたくましく生きていくために必要な学力・体力を身に付け、人間性豊かに成長している。  
(小学生国語 A:101⇒103、中学生数学 A:97.2⇒100)

## 6-1-1 豊富な観光資源等を活かした観光交流促進

### ■観光地入込客数と観光消費額



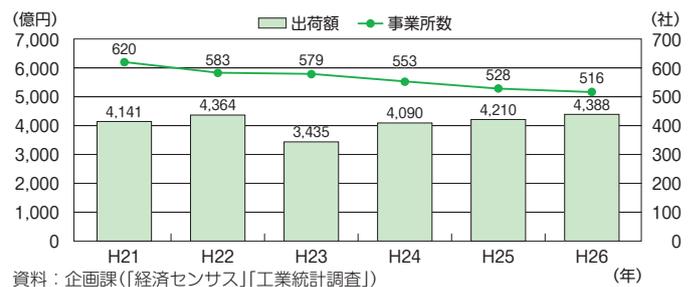
資料：観光振興課

### 目指す状態

豊富な観光資源を活かし、観光客でにぎわい観光消費額が増加している。  
(一人当たりの観光消費額の推計:13,017円⇒14,300円)

## 6-3-1 商工業の強化と環境整備の促進

### ■工業事業所数と製造品出荷額



資料：企画課(「経済センサス」「工業統計調査」)

### 目指す状態

足腰の強い工業生産や商業活動が展開され、地域外からの利益が取り込まれている。  
(製造品出荷額等:4,388億円⇒4,575億円)

## 6-3-2 地域の特性が光る商工業の推進

### ■事業所数と商品販売額(小売業)



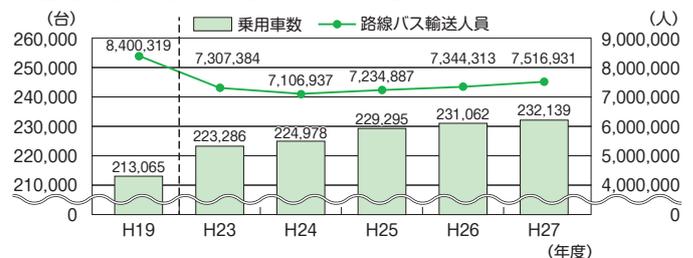
資料：企画課(「経済センサス」「商業統計調査」)  
注：平成24年以降は調査内容が大幅に変更されたため参考として表示

### 目指す状態

中心市街地、中山間地域などの地域ごとにある様々な特性を活かし、商工業に活気があり、まちがにぎわうとともに、新製品・新技術が開発され、企業活動が活性化している。  
(小売業の商品販売額:4,290億円⇒4,290億円)

## 7-2-1 地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築

### ■自家用乗用車と路線バス輸送人員



資料：国土交通省(「長野県内の市町村別自動車保有車両数」)、企画課

### 目指す状態

だれもが利用しやすい公共交通が構築され、多くの人々が利用している。  
(一人当たりの公共交通利用回数:128.5回⇒132.1回)



長野市

## 第五次長野市総合計画（概要版）

平成 29 年 4 月 発行

発 行 長野市

編 集 長野市企画政策部企画課  
長野市大字鶴賀緑町1613番地 電話026-226-4911(代表)

印 刷 株式会社 アクテック